



# 第23回環境コミュニケーション大賞 環境経営レポート部門 講評

令和2（2020）年2月19日

環境経営レポート部門選考ワーキンググループ 座長

法政大学 社会学部 教授 田中 充

## 第23回環境経営レポート部門全体の特徴



- 応募企業において、エコアクション21の環境に関する取組を拡張し、SDGsに関する取組を行う事業者が大幅に増加した
- 環境経営システムを活用し、SDGsを含めた地域の課題に積極的に取り組む事業者が増えている

- 2017年版ガイドライン準拠の環境経営レポートが増加し、「経営における課題とチャンス」を踏まえてエコアクション21に取り組む事業者が増加

### ■ 応募事業者数・受賞者数の実績

- 2017年版ガイドラインで応募した事業者が118社中61社、2009年版ガイドラインで応募した事業者57社を上回る
- 第23回（2019年度）の応募者数は昨年（第22回）と同じ
- 受賞者は2017年版61社中13社、2009年版57社中14社でありほぼ同割合

# 経営レポートの審査に当たっての着目点



## ○以下の観点から審査・評価を実施

1. 環境経営レポートに関する要求事項(準拠すべきガイドライン)に沿った取組みが行われているか
  - ガイドラインにおける要求事項への対応及びその内容の評価
2. エコアクション21の優れた取組みが行われているか
  - 事業特性、組織の規模、事業の内容に応じた環境経営目標・計画の策定、取組内容の記載
  - 環境負荷の実績、取組の実績・効果、評価及び改善策の記載
  - 組織の価値を高めるより積極的・高度な取組の記載等
3. 「環境コミュニケーションツール」であるレポートの作成に際して創意工夫や意欲がみられるか
  - 従業員の取組・意欲、当該組織ならではの内容
  - 環境コミュニケーションへの意欲が読み取れる内容
  - 読者の理解促進、わかりやすく、創意工夫された内容 等
4. 総合的評価として優れた取組みや創意工夫、完成度は？
  - レポート全体の評価、上記1～3以外の優れた取組、創意工夫等

# 受賞者の評価ポイントの紹介①



## 【大賞】株式会社DINS堺

### 事業概要：廃棄物の収集運搬、中間処理、廃木材からのバイオエタノールの製造等

- グループ企業内で実施しているSDGsフォトコンテストの応募作品が盛り込まれ読み物として優れている
- 廃棄物の処理工程が一般市民でもわかりやすく示され、リサイクルの重要性が認識できる
- 取組の評価が数値のみならず、担当者・所属長の写真・コメント入りで記述されており、現場の活動が伝わってくる
- SDGsと関連付けた独自の環境活動である「環境ラリー」は、全社員の参画を促す良いアイデア
- これまでの産業廃棄物処理業のイメージを変えてしまう発信力あるレポートとして高く評価



## 受賞者の評価ポイントの紹介②

### 【優秀賞】九州林産株式会社



#### 事業概要：森林管理事業、緑化事業

- 経営の視点を織り込み、中期経営計画のビジネスモデルを掲載し、本業に沿った優れた環境保全活動を展開している
- 環境負荷低減活動の成果はマテリアルバランスとコストの両面から整理され、定量的に環境活動を評価
- 自然共生社会に向けた貢献として生物多様性への取組において自主的な希少種の巡視、経過観察等の事例を紹介
- 次世代育成に向けたフィールドワークや自治体を含めた自然教育等による地域社会への貢献が図られている
- 全体として環境活動がわかりやすく、読みやすいレポート、会社案内としても活用可能である



## 受賞者の評価ポイントの紹介③



### 【優秀賞】東洋冷蔵株式会社

**事業概要：水産物・農産物・畜産物・酪農製品・飼料、化成品の仕入れ、販売・開発・加工・製造等**

- 環境・社会的な課題が明確であり、SDGsの5つのゴールに対応した環境経営目標を設定している
- PDCAが優れており、他社にも参考になる取組みなど高く評価できる
- サプライチェーン等が多く、それに伴う課題も少なくないが、流通段階での環境配慮の重要性に鑑み、サステナビリティ調査を試行している。新たなビジネスモデルに挑戦する経営者の意欲が伺える
- 魅力ある職場づくりや労働安全衛生等に関する取組も紹介している



# 環境レポートを活用し、環境経営E Aを実現する



## 環境経営レポートの作成・公表

### 環境経営レポートは、

- 自社に関する環境データをはじめとした様々な情報を記載
- 取引先・従業員・家族・自治体などへ自らが環境に配慮した事業者であることをPRするための有効なツール
- レポートの作成に加え、積極的に公表・活用することにより、事業者の環境への取組を応援する人々との協働の輪を広げる



環境経営レポートの活用を通じて、自社の環境への取組を内外の様々な利害関係者に伝えることにより、社会的信頼を高めるとともに、企業価値を向上を図る

# エコアクション21のさらなる発展に向けて



## エコアクション21に取り組む事業者の皆さんへ

- ◆ エコアクション21の取組が、どのような**経営上の効果**を生み出すのか、どのような**経営上の課題の解決**に役立つのかを考える。
- ◆ **本業と関連づけた環境経営目標**を設定する。
- ◆ エコアクション21の取組を活用・拡張し、**地域の課題やSDGsの課題**にも積極的に取り組んでいく。
- ◆ 取引先や地域にエコアクション21の取組を積極的に**公開し、信頼性を高めていく**。

**経営に、E A 2 1 の取組とレポートを広く活用する**